

令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	82	学校名	静岡県立浜北西高等学校	校長名	邑田 聡一
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒 85%以上 ・「授業に満足している」と答える生徒 80%以上 	おおむね達成できた。パソコンを活用した授業が増えてきている。	A	授業に満足しているのは良いことだが、定着させるにはテスト勉強以外の予習復習が重要と考える。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「進路実現のための努力をしている」と答える生徒 80%以上 ・新しい大学入試に対応した指導の実施(授業・検定・進路課外等) ・進路課外等の計画的実施 	「進路実現のための努力をしている」と答えた生徒は全体の85%であり、概ね良好であった。朝課外など大きな問題もなく運営することができた。課外補講、模試等が計画的に実施できた。進路課外を先生方の協力があって実施することができた。新形式入試と生徒の特性やバランスを見て課外を実施した。	A	朝課外の参加者が進学希望者の数に比べると少ないためどのように告知していくかが課題。来年度は模試代金は事前の振込に切り替える。数が少ないので個別指導にならざるをえないのではない。週1回課外を行い少しずつ力をつけさせられた。
		<ul style="list-style-type: none"> ・月末読書量統計をとり、読書の推進を図る。 ・年間7冊（11月末6冊）以上の生徒80%以上 	平均 3.8冊。今一步目標に届かなかった。	B	読書週間、図書館だより、図書委員による啓発活動など工夫していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・(観点別評価)学校として、教科としての統一を図る。 	評価方法の研究ができた。 観点別評価の研修を着実にを行い、試行に役立てることができた。予備校等の教科指導力向上セミナーに8名が参加した。(オンライン又は対面にて)	A	過渡期なので引き続き研究が必要。 観点別評価試行実施。本校の観点別評価の在り方についての研修。

	<p>教員の授業力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ授業一人年間1回以上、授業見学（他教科も含め）2回以上 ・Find アクティブラーナー視聴回数増加、研修の実施 ・中学校のPC活用授業参観1回以上 ・2学期始めまでに1年生の準備を完了 	<p>チャレンジ授業は着実に実施された。授業見学についても概ね達成された。</p> <p>Find アクティブラーナーについての研修は実施できなかった。</p> <p>新学年の Chrome の準備はほぼ整った。リモート授業も定着しつつある。成績処理システムも問題なく運用できている。全般に昨年度より ICT 環境は大きく進展した</p>	<p>B</p>	<p>工夫された授業が実施された。新教育課程の授業研究。研修課主催では強制力不足の為か、予定通り実施できない教員が多数見られた。</p> <p>Find アクティブラーナーを今後継続するか要検討。</p> <p>使用環境は、出来上がりつつあるので、職員への啓発・研修を来年度は行いたい。</p>
<p>イ</p>	<p>「時を守り、場を清め、礼を正す」指導と規範意識の醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年初期・中期指導6時間以上 ・学年集会の開催年間8回以上、集会時の遅刻0% ・時間を管理し、4点固定の中の家庭学習の開始時間を守ることができたと答える生徒80%以上 	<p>各学年におけるタイミングを見ての集会や全校集会の実施など効果的な指導ができた。</p> <p>家庭学習の開始時間を守ることができたと答えた生徒は全体で66.7%であった。</p>	<p>B</p>	<p>時間を守るということに関しては多くの生徒が意識し行動できている。しかし、朝の登校時間に関しては生徒が固定化されている。しっかりと改善に導く指導を行う必要がある。</p> <p>タイムマネジメントという観点で見ると、さらに高いレベルでの指導が必要。</p> <p>3年生のほとんどは部活動を引退し、さらに多くの生徒が実行できるはずである。1年生は学校に慣れ4月当初よりも勉強時間が減ってきている。2年生もまだ時間があると考え勉強へ取り組めていないように感じる。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・整備委員会の活動年間10回以上 ・清掃用具点検年間3回以上 	<p>年間を通して10回以上活動を行った。主な内容として、清掃用具点検、清掃点検、エアコンフィルターの掃除、下駄箱清掃、文化祭のゴミ出し管理当番を行った。</p> <p>年間を通して3回清掃用具点検を行った。</p>	<p>A</p>	<p>清掃環境を整え、校内美化に努めることができた。清掃点検をこまめに行い、手が届きにくいところのほこりや汚れも見落とさず一層校内美化に努めていく。また教員数の関係で、実習室に清掃監督者を割り当てられない状況があるので、委員を活用できないか検討していきたい。</p> <p>引き続きこまめに用具点検を行い、道具以外に清掃ロッカーの掲示物も分かりやすくし、清掃環境を整えていく。</p>

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・「自らすすんで挨拶ができる」「交通ルール・マナーを守る」と答える生徒 80%以上 	<p>生徒アンケートでは「挨拶ができる」95.2%「校則に従って生活できる」98.9%と回答。</p>	B	<p>生徒アンケートの結果は良いが、社会的な目線で考えればまだまだ指導する必要がある。</p> <p>交通ルール・マナーに関しては、命にかかわることでもあるので、継続的に指導をする必要がある。</p>
ウ	体系的なキャリア教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路指導を含めたキャリア教育（総合的な探究の時間）が充実している」と答える生徒 90%以上 	<p>「キャリア教育や進路指導が充実している」と答えた生徒は1年生95%、2年生94%、3年生92%であった。</p>	A	<p>1、2年生は「総合的な探究の時間」の学習内容が、3年生は進路に関する探究が充実していると感じていると思われる。</p> <p>生徒からのアンケート結果では、左のような数字が出たが、総探課としてももう少し具体的なアンケートをとることや、進路課と連携した活動計画を考えていく必要があると考えている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業前アンケートで「決定した進路先に満足している」と答える生徒 90%以上 	<p>12月末に進路が内定した生徒に対して実施したアンケートで、「決定した進路先に満足している」と答えた生徒99%</p>	A	<p>高い数値となった理由として、進学では、総合型選抜、学校推薦型選抜で進路が内定した生徒が多いため、第1希望の進路を実現できた生徒が多いことが考えられる。</p> <p>就職では、ほとんどの生徒が9月に実施した1回目の採用試験に合格したことが考えられる。教員からの支援も十分であった。</p>
エ	国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチ交流会 年3回以上 ・相互のプレゼンテーションの実施 ・浜北国際交流協会との連携 	<p>ランチ交流会はコロナで実施できず。</p> <p>コロナ禍でもオンライン等で新たな交流プログラム（台湾の高校）を作成することができた。</p> <p>浜北国際交流協会との交流は進行中</p>	B	<p>コロナ禍でもオンラインの交流を拡大することができた。本校の基本的なプログラムの構築、継続、定着。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・（タイ王国シリントン学校訪問実施） ・オンラインでの交流3回以上 	<p>タイ王国シリントン学校（2回）・国立鳳山高級商工職業学校（1回）との交流をオンラインで行った。</p>	B	<p>コロナ禍でもオンラインの交流を拡大することができた。感染状況にもよるが、留学生の積極的な受け入れや、オンラインでの交流の継続。関わる生徒数の拡大。</p>
オ	大学や企業・地域・保護者等との	<ul style="list-style-type: none"> ・県大会出場 10部活以上 ・1部活1ボランティア（交 	<p>予選を突破しての県大会出場は12部活で達成できている。</p> <p>1部活1ボランティア（交流）活動はコロナ禍において難し</p>	B	<p>多くの部活動が活発に活動しており、充実した生徒の活動が見られる。</p> <p>ボランティア・交流活動に関</p>

連携や協働活動、貢献活動、広報活動（探究の時間を含む）	流）活動（地域貢献活動・協働・連携等）の実施 ・校内への普及体制（窓口）の確立	いが、外部と調整し動き始めることができた。		しては、情報を提供し動き始めたが、結果として実際の活動ができていない部分もある。地域に目を向けて実施していきたい。
	・各委員会の開催年5回以上 ・生徒による具体的活動の実施（生徒会や委員会）	各委員会でそれぞれ活動を実施できている。 球技大会は休校により全日程を実施することができなかったが、文化センターでの槇の葉祭や体育大会など生徒主体の行事を成功させることができた。	A	委員会活動に関しては、それぞれの立場で様々な活動が行われているが、生徒の自主性、主体性をもっと引き出していきたい。 学校行事はコロナ禍において難しい部分もあったが、工夫をしながら実施できた。 今後も状況に応じながら生徒が積極的に参加できる行事を実施していきたい。
	・連携した防災教育の機会2回以上、地域防災リーダー育成と防災訓練の見直し ・保護者・地域の方の来校が増加する。	避難訓練は予定通り行えた。 地域防災リーダーとして防災冊子作成に協力できた。	A	2回目の避難訓練は授業教室からの避難体験ができた。 地域防災訓練は自治会ごとに違っており、参加する生徒が少なかった。
	・連携したキャリア教育の機会3回以上	1年生を対象に3月に静岡県西部地域局危機管理課職員による「HUG（避難所運営ゲーム）体験」を実施予定。 7月に行っていた職業講話が開催できなかったが、探究課で浜松で活躍する社会人を講師として招き、職業講話を実施した。 キャリアサポートとの連携が密にとれた。 探究の発表が良かった。 総合的な探究の時間を通して自分のキャリアを考える時間を3回以上行った。	A	1年生を対象とした防災教育も5年目になり定着してきたように感じる。生徒が防災について深く学び、地域社会に貢献できること知ることになってきている。教員にとっても総合的な学習の一環として定着してきた。 普段接することが少ない職種の方の話を聴くことにより、社会の仕組みについて知ることができ、職業選択を考える際の一助となる。 3年生の就職希望者の保護者会は、PTA 総会時にやり、日程説明をした方がよい。 就職試験に落ちた者や急に就職希望になった者に対して迅速に対応し、就職率約100%になった。 最終的に自分の将来の目標を明確にできた生徒が増

					えた。
		<ul style="list-style-type: none"> ・連携又は協働した安全教育の機会1回以上 	熱中症講座を浜松医療学院専門学校杉山先生を講師に招き各部活動マネージャー及び部員・運動部顧問に実施した。	A	新型コロナウイルス感染症の対策を考えて実施することが出来た。今後も新しい生活様式に合わせて実施していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・探究検討委員会を毎月開催 ・3年生の進路を意識した探究活動の構築 ・3年間の流れを検討・修正していく。 	<p>本年度は分掌として「探究課」を設置し、十分に課内で議論し、各学年や分掌と調整して探究学習を進めていくことができた。探究検討委員会は実施できなかったが、それ以上の成果を上げることができた。</p> <p>2年生での探究活動の中で、常葉大学との連携、フィールドワークとして2つの企業と連携（訪問）し、SDGsを学習した。</p>	A	<p>学校以外の他者と「つながる」ことで、探究の活動を深めたり、視野を広げたりすることにつながった。</p> <p>地域の人や企業との人脈をさらにひろげ、生徒が積極的に学校の外へ出かけて学習（活動）できるような環境を作っていくことが必要だと考える。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・HP更新月4回以上、学校便り等の作成やSNSの利用で広報活動を充実させる。 ・中学生向け学校紹介動画をリニューアルする。 	<p>学校紹介パンフ・動画については生徒の視点も取り入れ、昨年度より良いものとなった。</p> <p>HPについては、フロントページをリニューアルして、そこに情報を集約する形（スライドショーの活用）にした。</p> <p>あらたまたまよりは、例年より写真を使ってわかりやすい内容にした。</p>	B	<p>HPを魅力的にすること、学校紹介動画の編集の工夫（技術的及び生徒とのコラボ）</p> <p>保護者への広報はできるが、地域への広報の方法が課題である。</p>
カ	業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年・分掌、運営委員会等で意見の集約を図る。 	各分掌と連携して行事の配置をすることができた	B	年度途中で追加、変更があり戸惑うことがあった。学校行事ではなく分掌、学年の行事についても連携して考えていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・部活動計画表の作成（年間及び月間）、提出 ・各部活動、年間80日以上休養日の設定を心掛ける。 	<p>各部活動が適切な休養日を設け、計画的な活動を実施できている。</p> <p>部活動データフォルダの活用に関しては練習計画や試合結果などを定期的に確認することができなかった。</p>	B	<p>計画的で有効な活動を意識し、活発な活動が実施できている。</p> <p>部活動データフォルダの活用に関して、生徒課としてしっかりと管理していかなければならない。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・前年以上にNESの活用が増加する。学校掲示板の効率的な活用を促進する。 	学校掲示板を活用し、学校行事やPTA活動の連絡や報告を、職員に対して効率的に行うことができた。	A	今後も継続して学校掲示板を活用し、職員への連絡や報告を効率的に行いたい。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な業務計画の推進 ・ 学校経営予算運用の効率化 	<p>ほぼ計画どおりに業務を進めることはできた。計画にない事案も生じたが、職員全体で取り組み、やり遂げることができた。</p> <p>予算不足ながらも光熱費等を確保しつつ計画的に執行することができた。</p>	<p>A</p>	<p>引き続き、計画的に業務を進めることを推進し、教職員が各自で業務をコントロールしやすい環境を目指す。</p> <p>電気料単価高騰の影響は大きく、一層の節約と予算執行の見直しが必要。</p>
--	--	---	--	----------	---